

離床アシストベッド「リシヨーネ」 導入効果測定報告

パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社

新規事業インキュベーションG アシストベッドPJ

河上日出生

離床アシストベッド 「リシヨーンネ」について

離床アシストベッド「リショーン」概要

電動ケアベッドと電動フルリクライニング車いすが 融合した新発想ベッド



電動ケアベッド状態 (3モータ)



車いす分離



電動リクライニング車いす状態

ベッド機能



車いす機能



離床アシストベッド「リショーン」の特徴

介助者一人だけで簡単・安全・スムーズに移乗介助できる

- ① 介助を受ける方を**持ち上げず**に移乗できて、転落の心配が無く、**安全**
- ② 移乗支援中は、介助を受ける方から**目を離さず**操作できるので、**安心**
- ③ ベッドと車いすの分離・合体操作は、**介助者一人で軽々**できる**簡単操作**

車いす分離



リクライニング



車いすで移動



「介助する方・受ける方」双方の負担軽減・QOL向上に貢献します

離床アシストベッド「リショーン」の安全性

ロボット介護機器「リショーン®」 世界初のISO 13482認証を取得

2014年2月17日付で、ロボット技術を応用した離床支援のためのロボット介護機器「リショーン®」について、パーソナルケアロボットの安全性に関する国際規格ISO13482に基づく世界初の認証を取得しました。本認証は、日本品質保証機構（JQA）がパーソナルケアロボット（生活支援ロボット）の安全性に関する国際規格ISO13482に基づいて、当社のロボット介護機器「リショーン®」の安全性を評価し認証したものです。

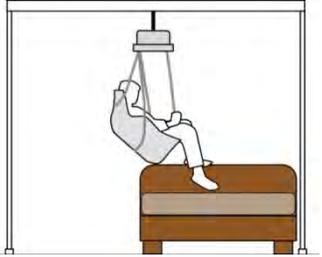


パーソナルケアロボット認証マーク（JQA）



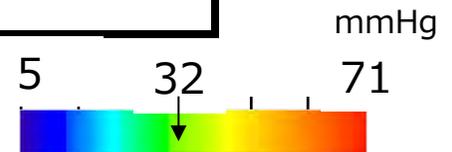
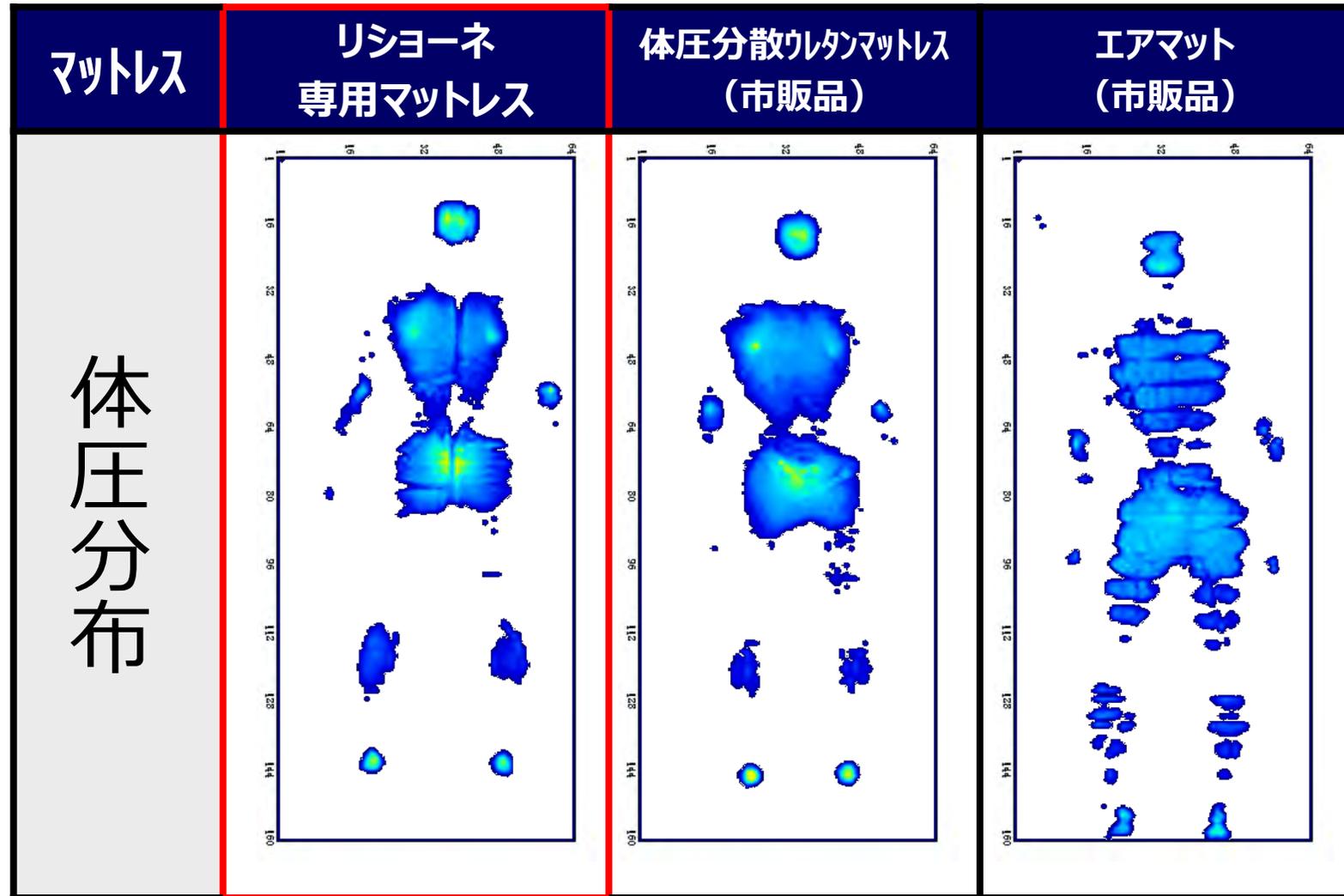
「リショーン」による移乗介助【リフトとの比較】

ベッドから車いすへの移乗介助についての比較データ

 <p>評価協力 YRS 社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団 ユアーズ</p>	リショーン	床走行型リフト		据置型リフト	
					
所要時間	1分17秒	3分6秒	2.4倍	2分46秒	2.2倍
ステップ数	26ステップ	103ステップ	4倍	98ステップ	3.8倍
身体負担 (20度以上の腰曲げ作業)	32秒	2分56秒	5.5倍	2分13秒	4.2倍
	20% (全工程比)	95%	3.2倍	80%	2.7倍
作業スペース (移乗に必要な領域) エリアを10 x 10 cmのブロックに分割し、作業時に頸部が通過したブロック数、軌跡をカウント	135ブロック (1.35m ²)	310ブロック	2.3倍	296ブロック	2.2倍
	12.7m (動作軌跡長)	39.7m	3.1倍	39.8m	3.1倍

専用マットレスの体圧分散能力について

一枚ものの体圧分散マットレスと同等レベルの体圧分散能力



リショーン開発・商品化活動：ユーザ評価と改善（開発時）



500名以上にのぼる介護関係者への実機ヒアリング・試用評価・現場評価に基づき改善

サセル香里園体験デモ



イヅワール大和田体験デモ



サセル香里園シミュレーション実証



松下記念病院実証



2011バリアフリー展



イヅワール大和田シミュレーション実証



HOSPITAL BUILD ASIA 2011
Singapore



社会介護施設体験デモ



リショーン開発・商品化活動：ユーザ評価と改善（商品化時）

国プロ活用し、商品プロトのモニタ評価、商品化後の効果測定を実施し、
現場に即した改善を継続して進める

「商品プロト」モニタ評価

有料老人ホーム グッドタイムリビング千葉みなと（千葉県）



移乗



整容



移動



食事



休憩



移動

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（平成25年度）

（介護機器モニター調査事業）

公益財団法人 テクノエイド協会（厚生労働省）

「商品」導入・効果測定

介護老人保健施設 サン（長崎県 佐世保市）他



スライドシートで車いす側へスライド移乗



車いす座位変形とクッションによる姿勢保持

ロボット介護推進プロジェクト（平成26年度）

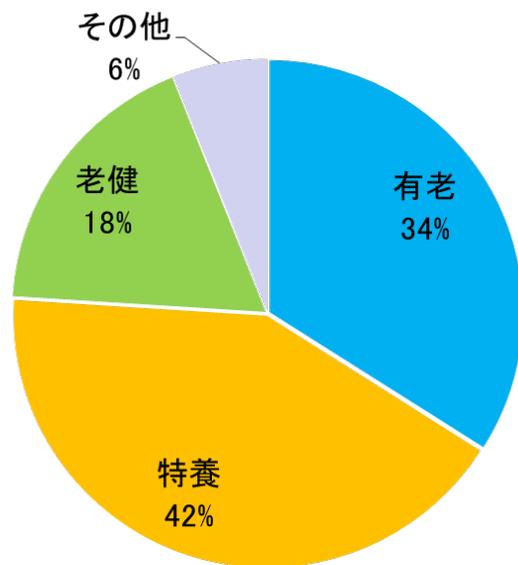
公益財団法人 テクノエイド協会（経済産業省）

導入効果測定結果報告

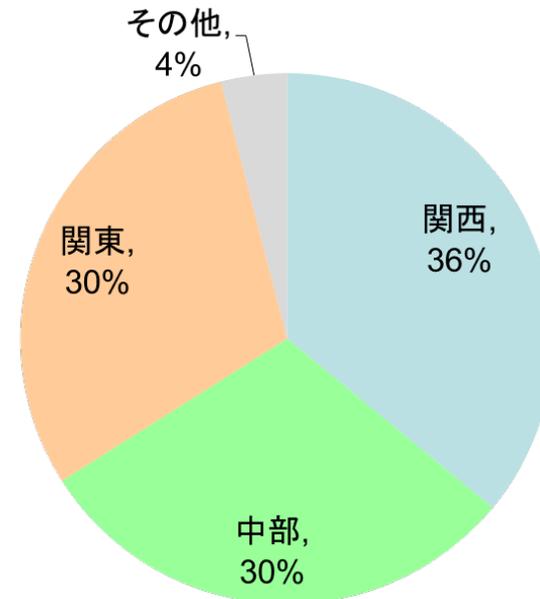
導入効果測定実施概要

項目	内容	特記事項
実証期間	2014/7～2014/12	測定期間：3ヶ月（12週間）
施設数	T011：27施設、T019：10施設	合計：37施設
導入台数	T011：33台、T019：10台	合計：43台
施設種別	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム	詳細下記参照

導入先施設分類（種別）



導入先施設分類（地域）



ロボット介護機器推進プロジェクト以外の導入先も含む

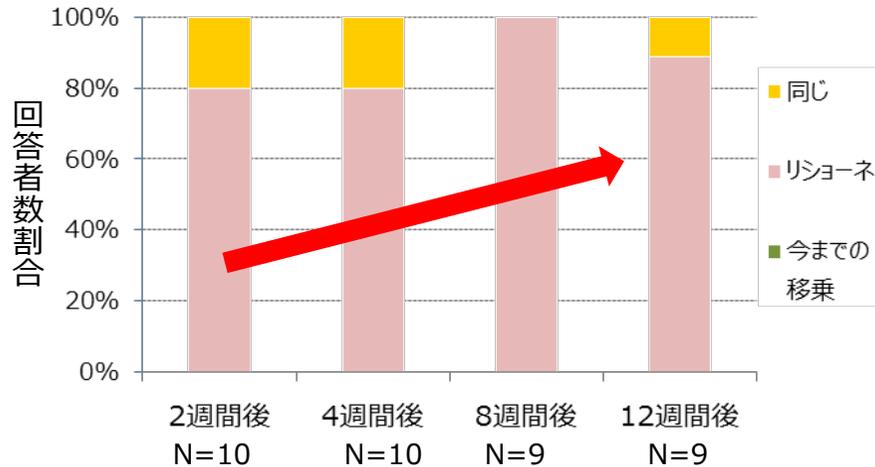
効果測定結果（概要）

ご利用者様本人、スタッフ様ともに、リショーン導入による改善効果が明らかに生じた

ご利用者様



ベッド→車いすの移乗 従来/リショーンどちらが良いか

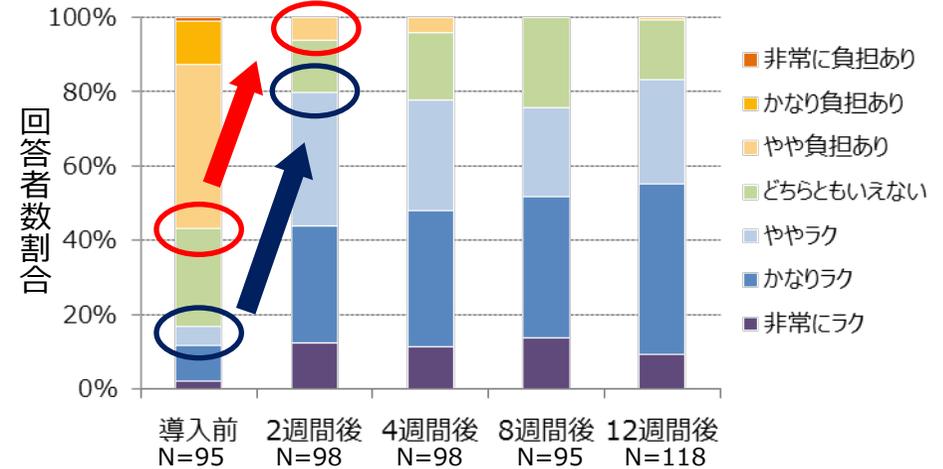


移乗に関しては、導入直後から
**80%の方がリショーンが良いと回答し、
時間がたつにつれ増加する傾向**

スタッフ様



移乗介助 身体負担



移乗時の負担感が、導入直後から軽減
(約60%の人が負担あり⇒最終的にほぼ0%)
その分、ラクと回答した割合が大幅に増加。

<ご意見・ご感想>

- ご利用者様が**負担無く起きられる**ようになり、すごく良かった（浦舟ホーム）
- 総合的に非常に良かった**。スタッフが腰を痛めて働けなくなることがなくなるよう、もっと広めて欲しい（マイライフ徳丸）

定量的データは、調査票回収完了したものを利用
インタビュー結果は、その他の施設も含む

効果測定結果（ご利用者様）



ご利用様

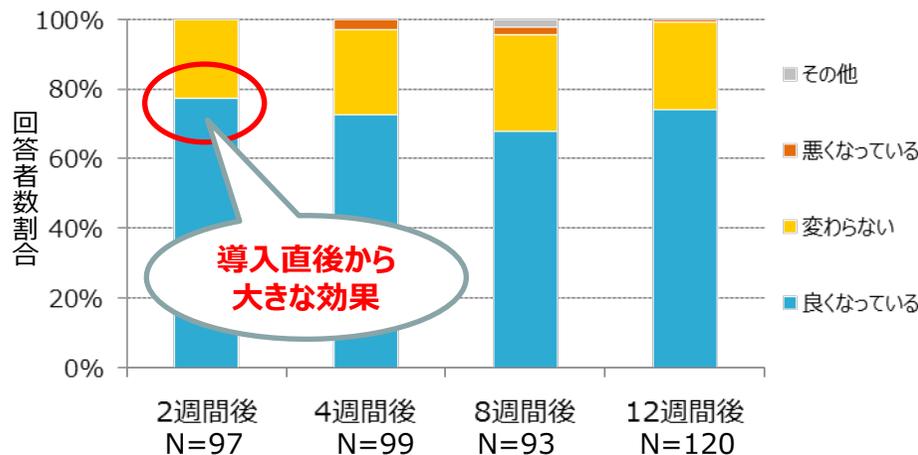
ご利用者様の様子（導入前と比較）



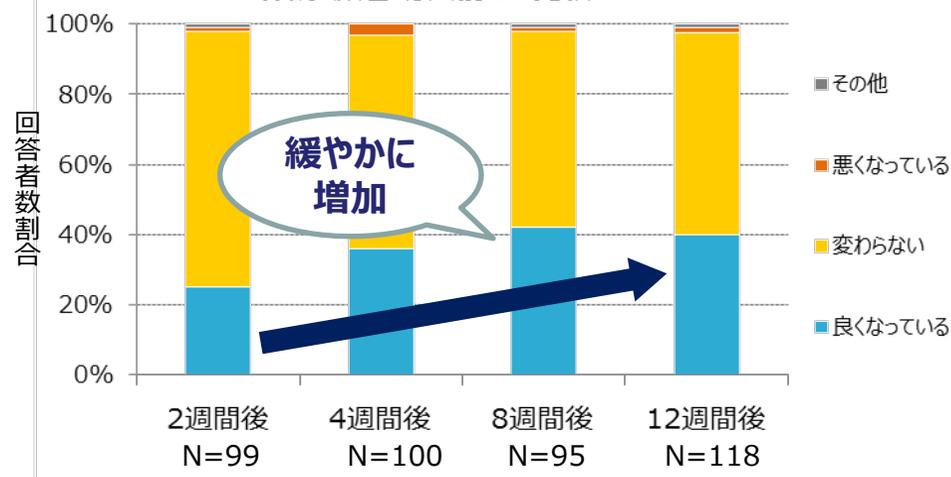
スタッフ様から見た
ご利用者様

導入後期間がたつにつれ、**良くなっている割合が増加傾向**
乗時負担は、2週間後から大きな効果あり

乗時負担 導入前との比較



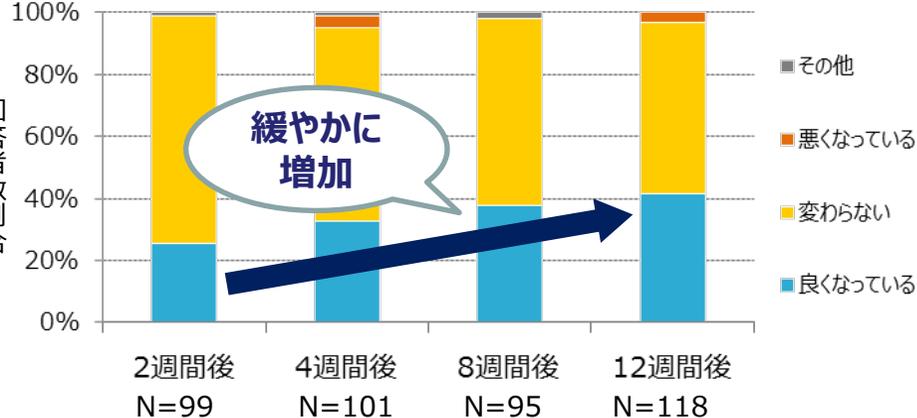
体調・顔色 導入前との比較



表情 導入前との比較



口数やリアクション 導入前との比較

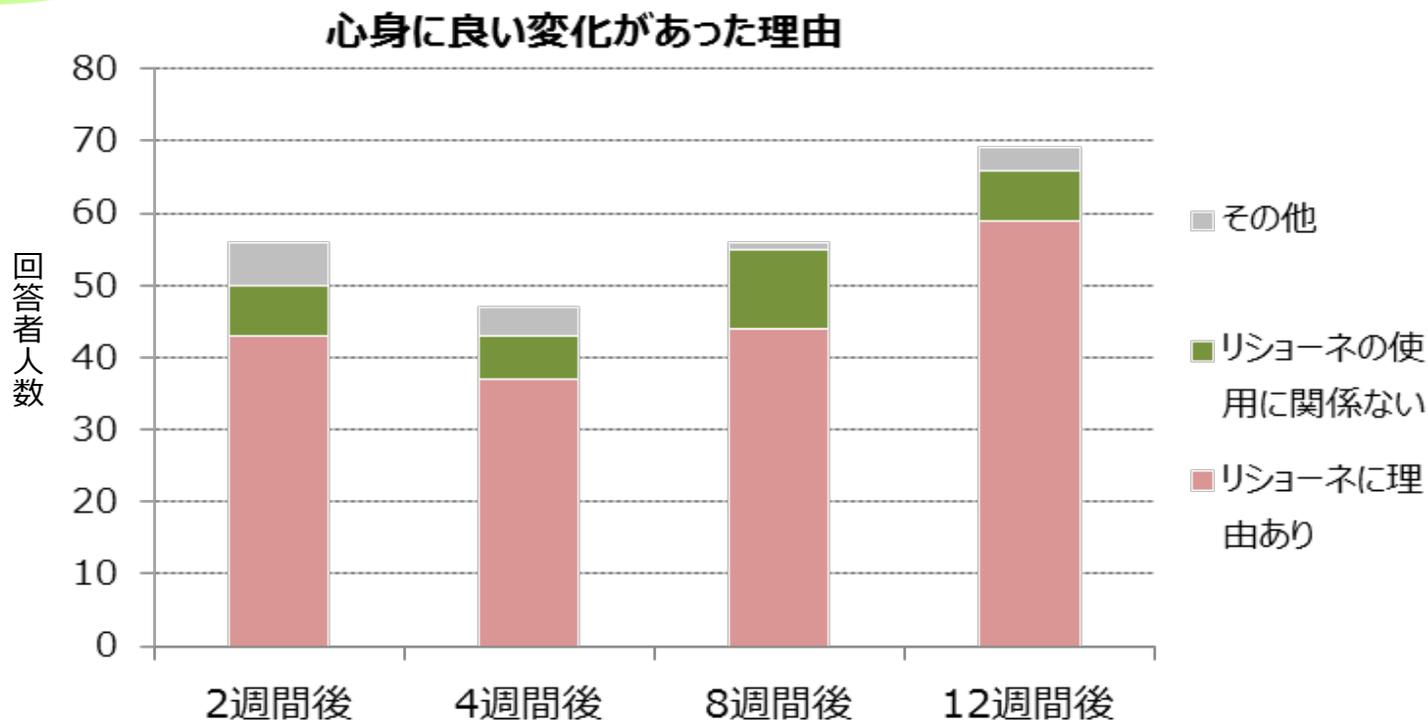


ご利用者様 心身状況良化の理由



スタッフ様から見た
ご利用者様

良い変化の要因は、リショーンに由来する場合は殆どであった



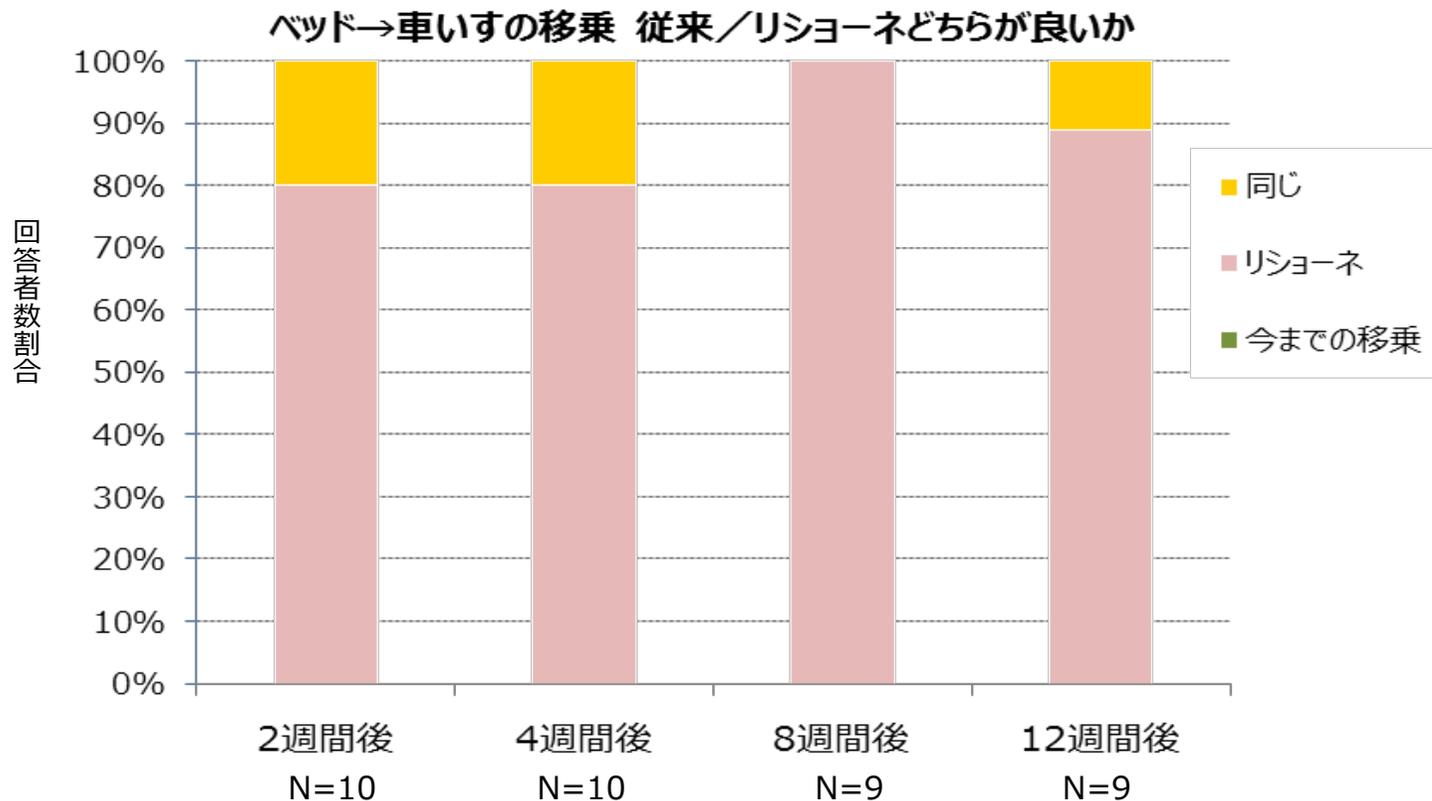
<スタッフ様 コメント>

- 以前のベッドより柔らかく、良眠されている (GF箕輪)
- リフト移乗で無くなった事による、下肢への負担、痛み減 表情も以前より柔らか (GF塩尻)
- 骨折があるためリショーン導入前の移乗時は苦痛な表情だったが、リショーンになってからは穏やかな表情に (GF春日井)

導入前後の移乗方式の比較



導入直後から、リショーネの移乗の方が良いとの意見が80%
時間がたつにつれ、増加する傾向（従来方法が良いという意見は0%）



<ご利用者様、スタッフ様 コメント>

- 険しい表情をされることが減った。また、「痛い」と言う発言も減っている為（GF春日井）
- リショーネの方が緊張が少ない（第2 SL江南）

効果測定結果（スタッフ様）



スタッフ様

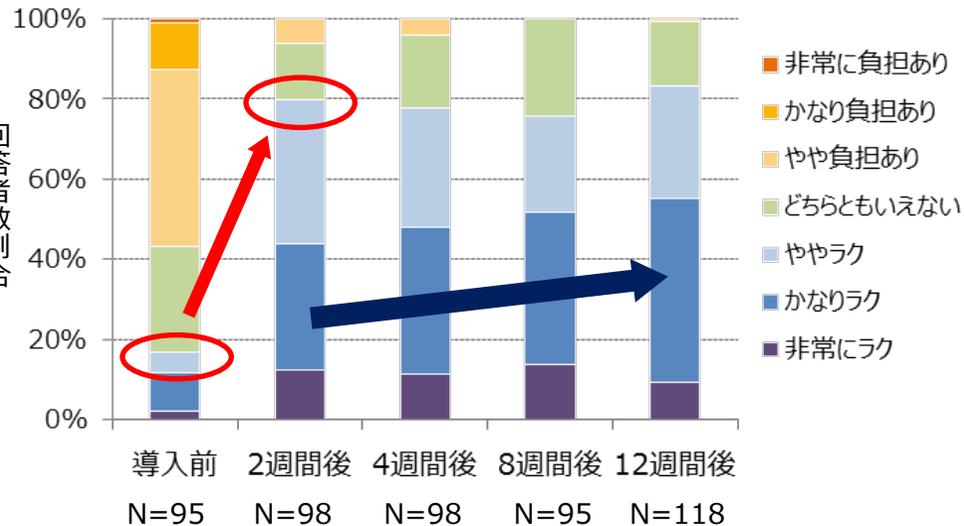
スタッフ様のご負担（身体）



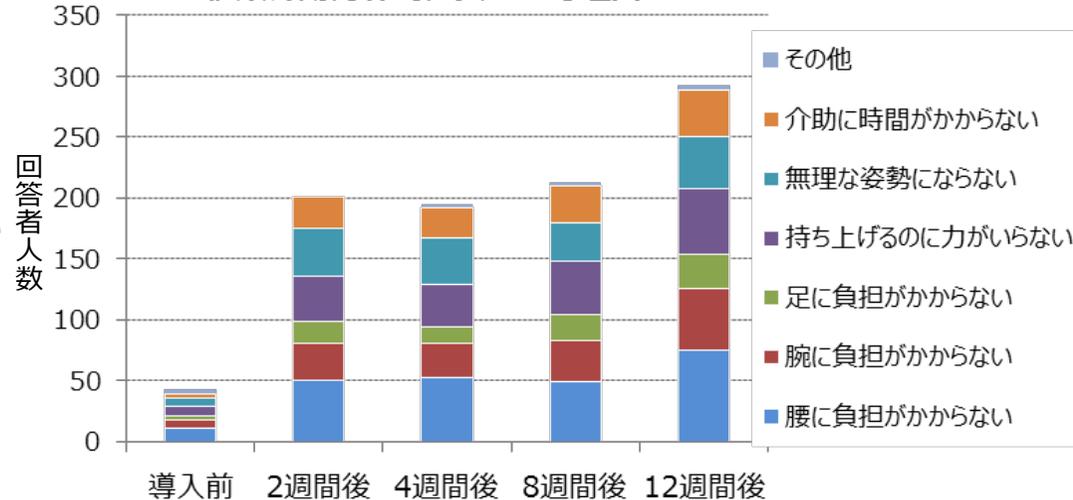
スタッフ様

導入前は半数以上が負担あり⇒導入直後から80%がラクに
時間がたつにつれ、慣れにより「かなりラク」が増加

移乗介助 身体負担



移乗介助身体的にラクである理由



<スタッフ様 コメント>

- 移乗という感覚でなくなってラク（第2 JF江南）
- 力のいる動作があまりない（第2 SL江南）
- ボードが結構大きく扱いにくかった。足がピンとなっているので、以前は職員の体勢も力が入ったり負担が結構あったと思う。（GF春日井）

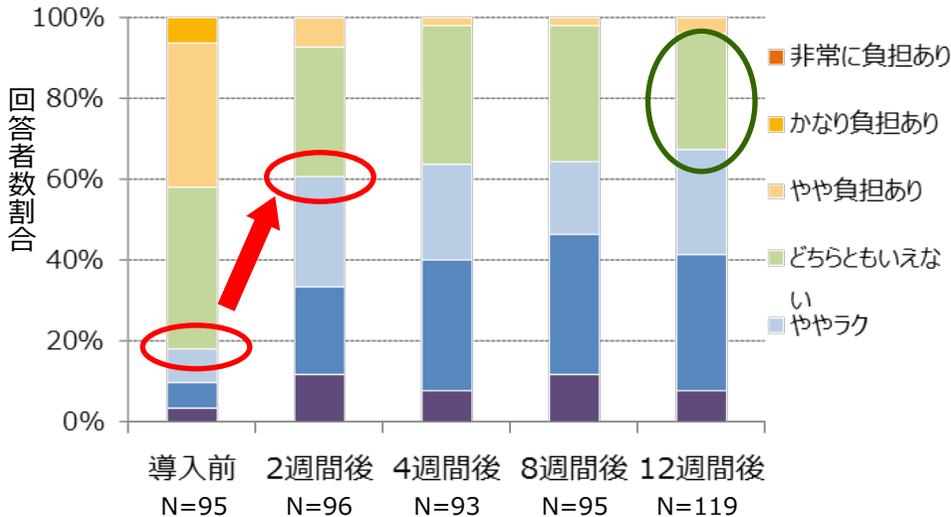
スタッフ様のご負担（心理）



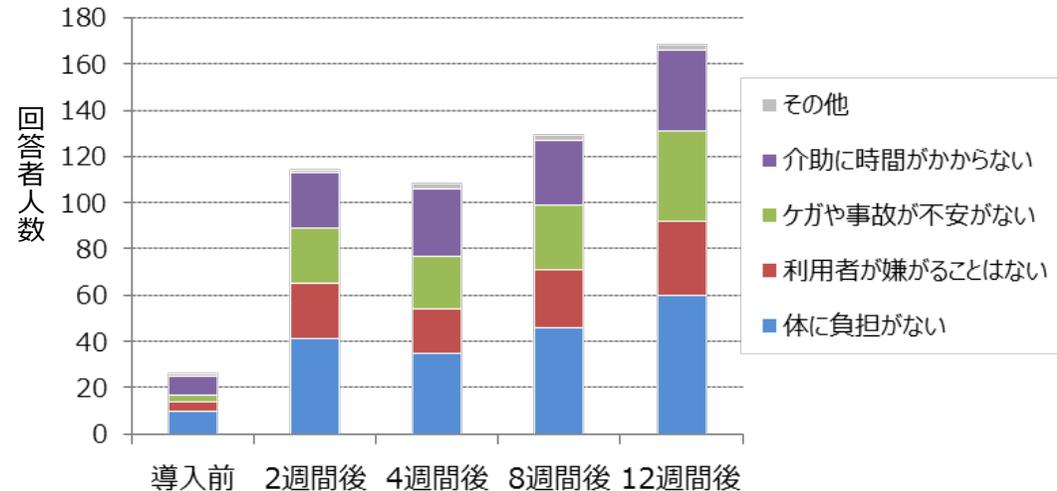
スタッフ様

身体負担と同様、導入直後からラクという回答が6割
ただし、機械を慎重に扱いたいという意識があるため、「どちらともいえない」も多い

移乗介助 心理負担



移乗介助心理的にラクである理由



<スタッフ様 コメント>

- 1人介助が可能となったので、**重介護者の受け入れも積極的にできる**。2人介助が必要な方が複数いてもリショ-ネに頼れるという**精神的な支えになる**（ながよし苑）
- 移乗をほとんどしなくても良い為、**簡単でスムーズ**（GF春日井）
- ×壊してしまいそうで怖い。慎重になる。**使い方が間違っていないか不安**（白寿苑）

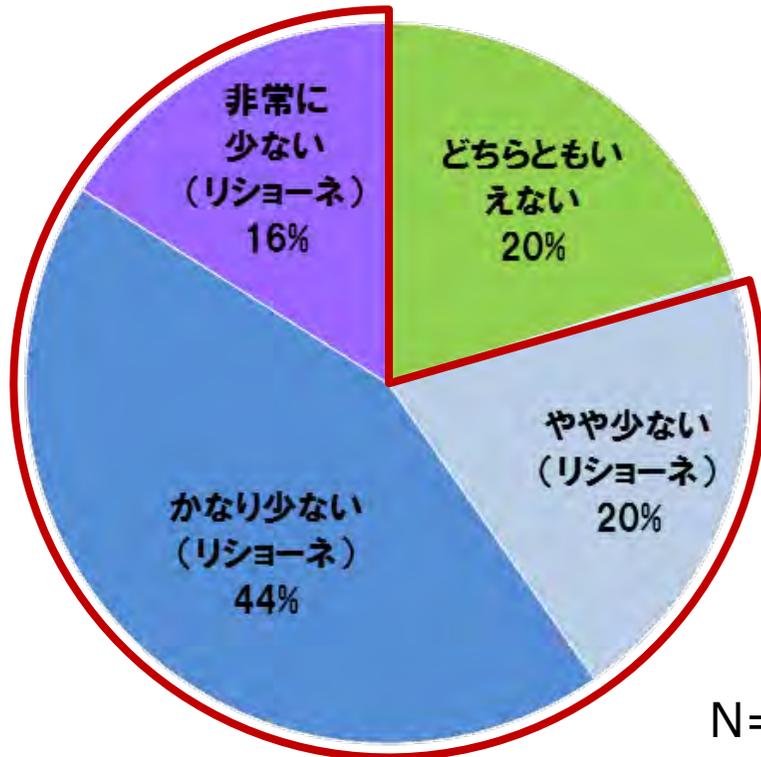
移乗方法負担感の比較



スタッフ様

3ヶ月後、70~80%のスタッフ様が、
リショーンの方が負担が少ないと回答

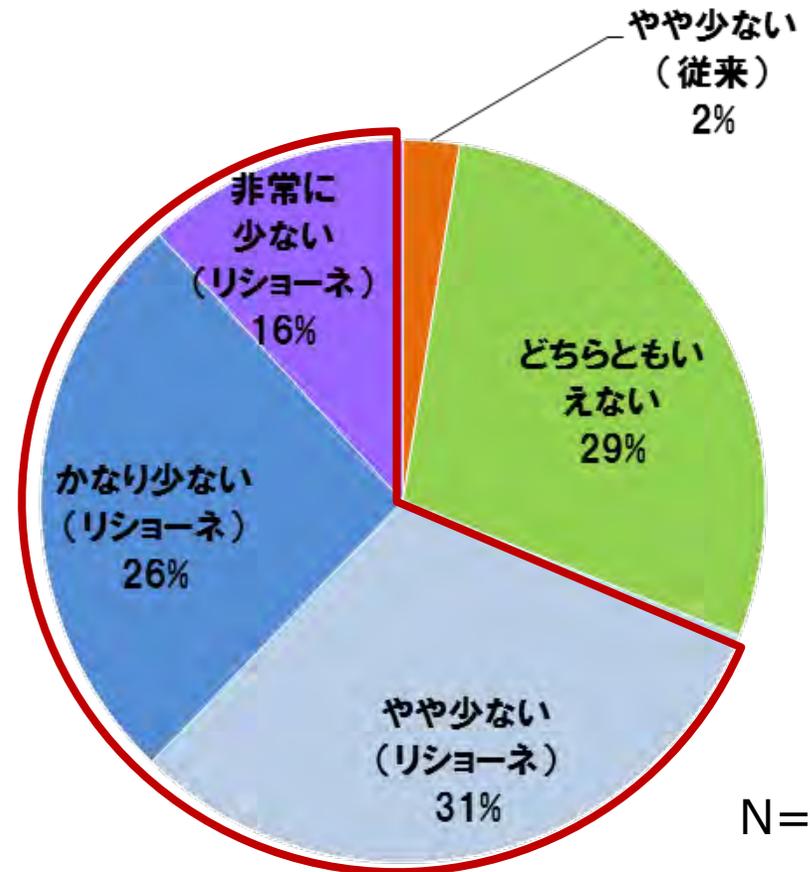
身体的負担について（3ヶ月後）



N=118

従来方式のほうが負担が少ない = 0%

心理的負担について（3ヶ月後）



N=119

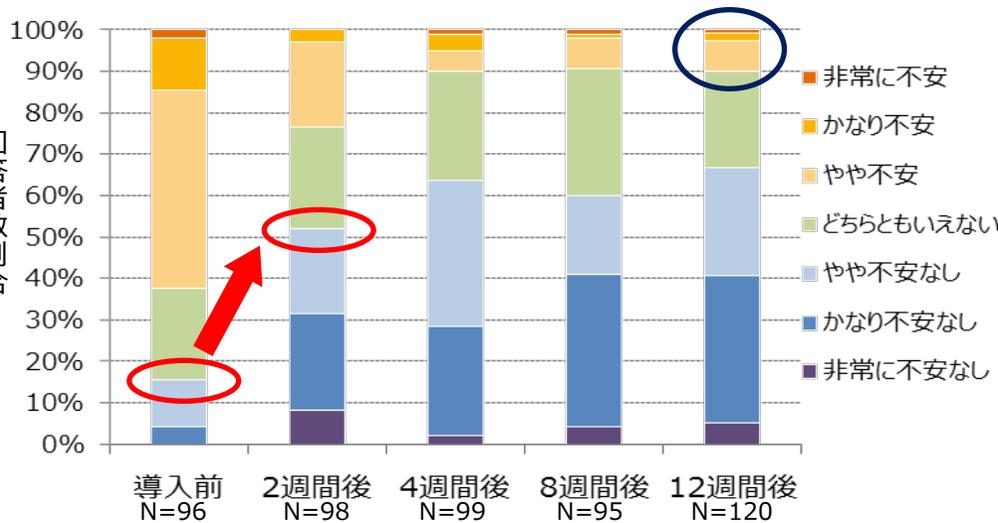
安全性について



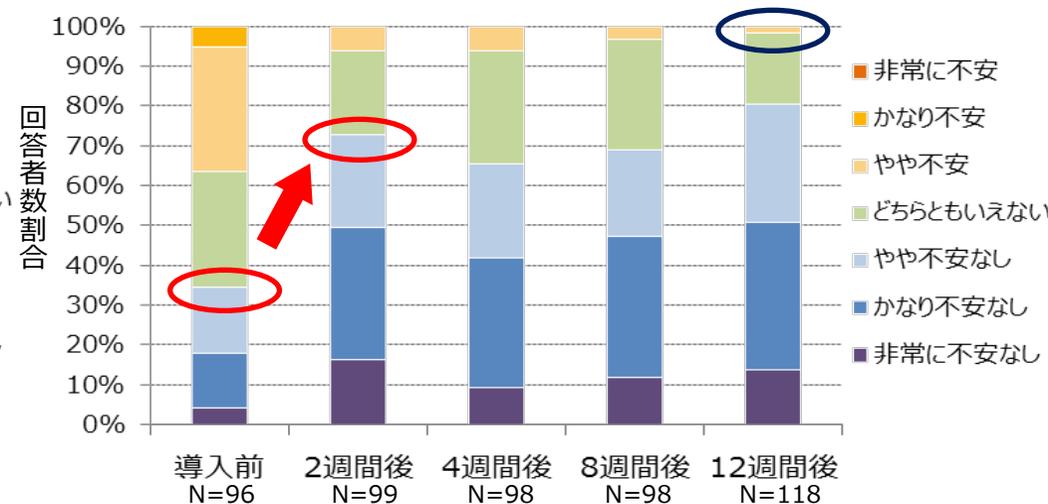
スタッフ様

ご利用者様、スタッフ様ともに、導入前に比べると「不安なし」が増加
ただし、「やや不安」も最後まで存在した

移乗介助時 対象者が怪我をする不安



移乗介助時 自分が怪我をする不安



<スタッフ様 コメント>

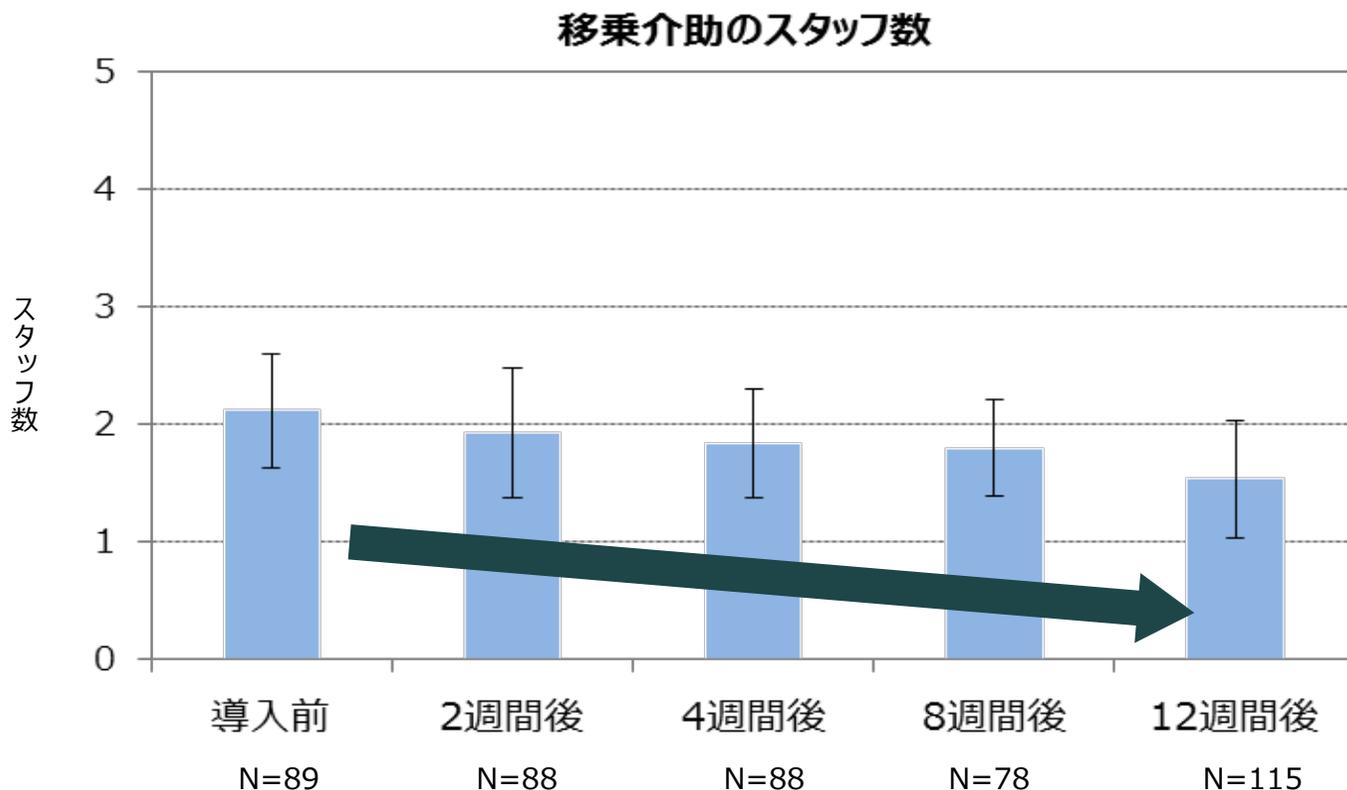
- 従来のようにフレキシを使って、勢い余ってケガをさせるリスクが少なくなった (第2 SL江南)
- コントローラーに案内「挟み込み注意！」が出て安心 (GF箕輪)
- ×今回使用されている方は、姿勢保持が難しい方なのでアームレストがやや低く、座位時に転落するのでは・・・と、いつも感じる (ながよし苑)
- ×利用者さんが体格が良いので、幅ぎりぎり。移動時に、アームレストから腕が落ちてしまうのではないかと怖さがある (白寿苑)

導入前後の移乗介助スタッフ数の変化



スタッフ様

導入前は2名介助であったが、時間を経るごとに、介助人数が減少
⇒工数削減につながっている



<スタッフ様 コメント>

○移乗介助が1人で対応できるところにメリット。スタッフが少ない昼食後などでも臥床の対応が可能となった
2人でタイミングを合わせなくてよいので、他の人にもタイムリーに対応できる (ながよし苑)

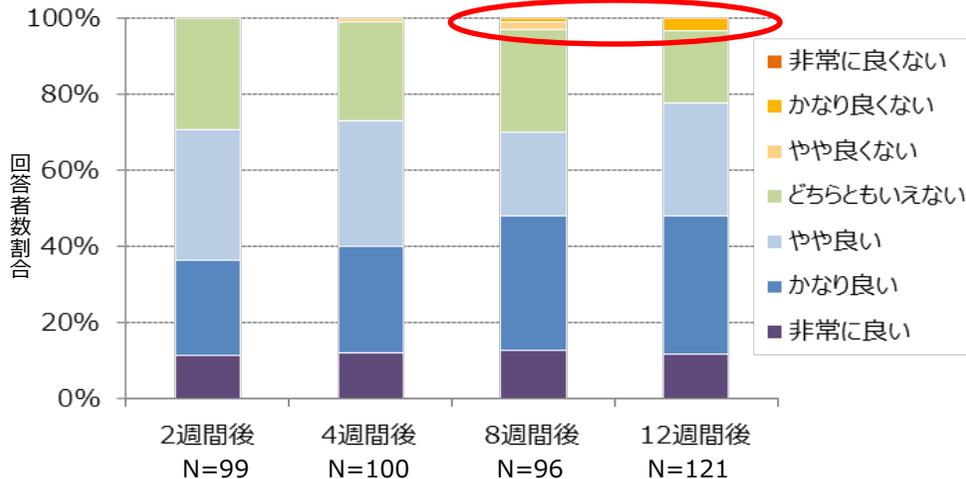
リショーンを導入して良かったか



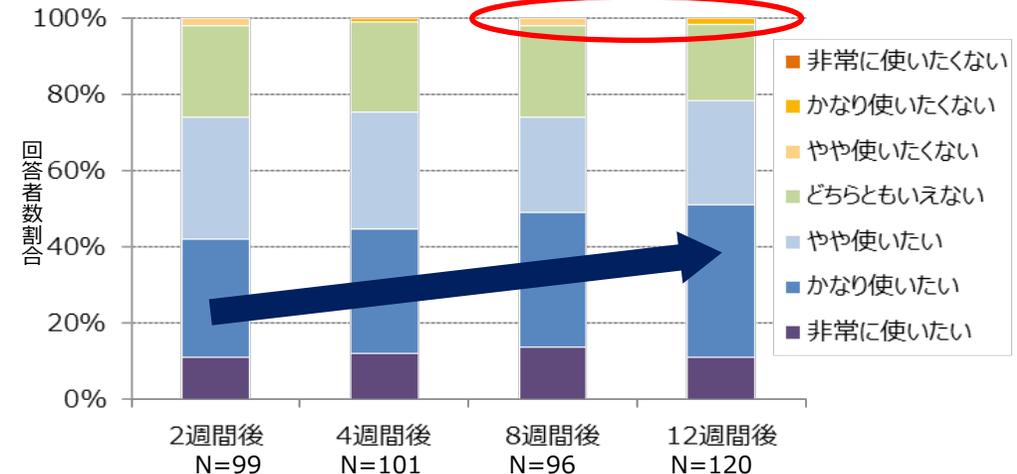
スタッフ様

導入2週間後から、70%の方が、「良かった」「今後も使いたい」と回答
時間がたつにつれて、「かなり使いたい」が緩やかに増加する傾向

リショーンを導入して良かったか



リショーンを今後も使いたいか



<スタッフ様 コメント>

- 色々なタイプのリショーンができて世の中全部導入されたら良い。職員の腰痛が無くなる (浦舟ホーム)
- 介護老人保健施設なので色々な人が来る。急性期から回復した人に短期的に使って、通常のベッドに戻っていききたい (ながよし苑)
- × 体幹の柔軟性低下や、長軸方向への骨荷重が極端に少なくなった。
身体機能の維持という面でも疑問が残る (JF千種)

<事例>
社会医療法人財団 白十字会
介護老人保健施設 サン様





- ・108歳（施設内最高齢）の女性
- ・リショ-ネ導入前、車いすへの移乗は、体へのリスクが大きいため、実施していなかった
（週2回の入浴時の特浴車に横移動の移乗を実施。毎食の食事には、ベッドごとフロアへ移動）

性別	年齢	障害高齢者の日常生活自立度	認知高齢者の日常生活自立度	認知症診断有無	身長 (cm)	体重 (Kg)	麻痺	拘縮	褥瘡有無	寝返り	移乗	移動
女性	108	C2	Ⅲa	アルツハイマー型	148	37.5	なし	膝関節	なし	出来ない	全介助	全介助





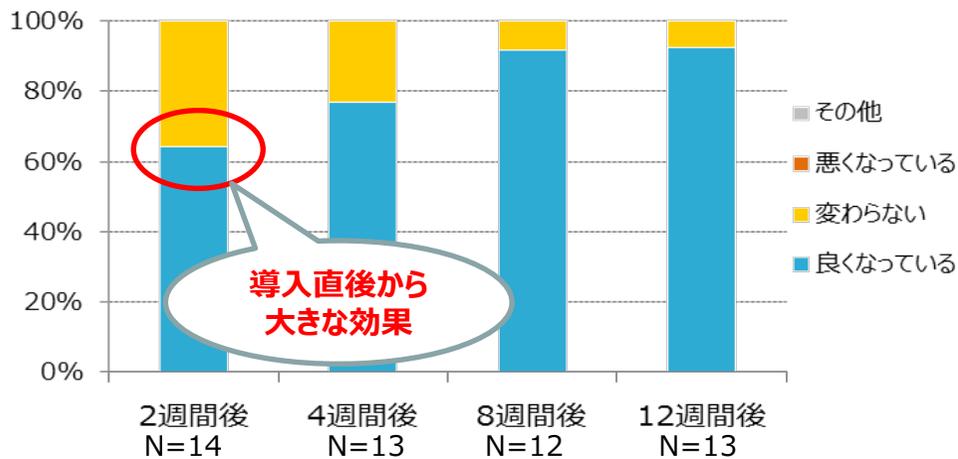
ご利用様



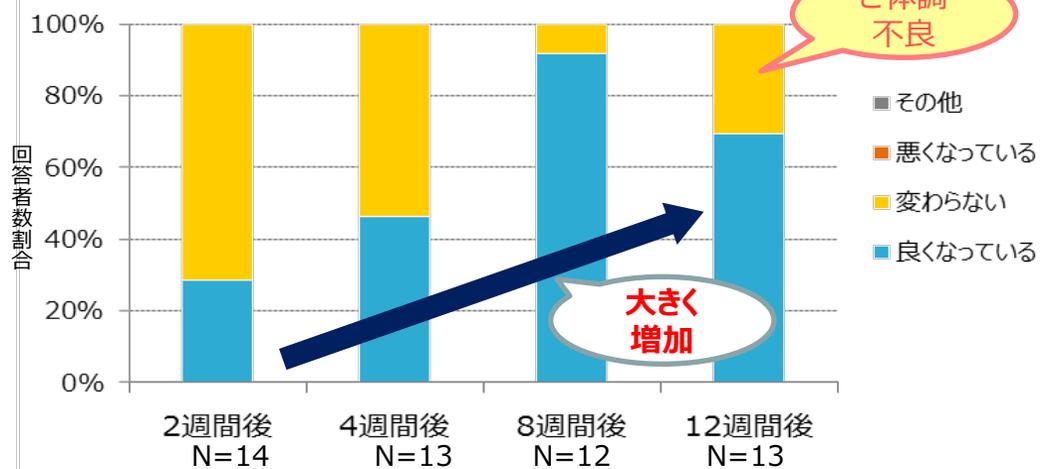
スタッフ様から見た
ご利用者様

移乗時負担は、2週間後から大きな効果あり
口数やリアクションは時間を経るごとに非常に良化、歌を歌うことも可能となった

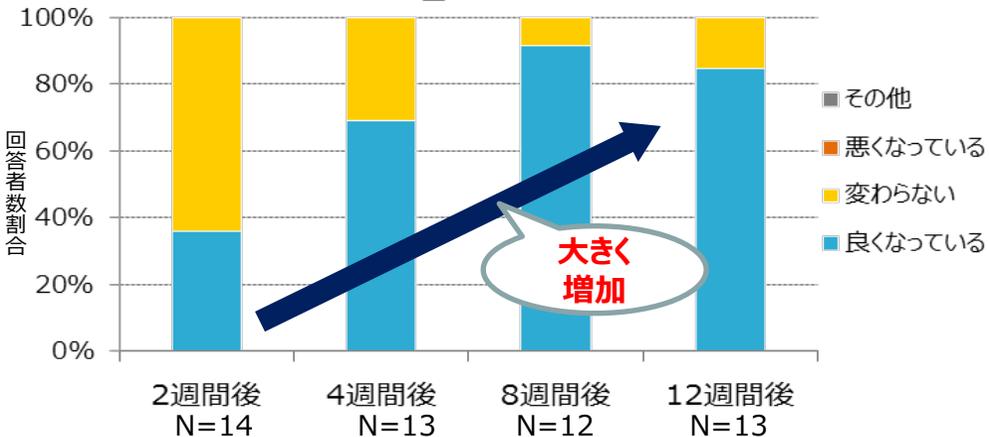
移乗時負担 導入前との比較



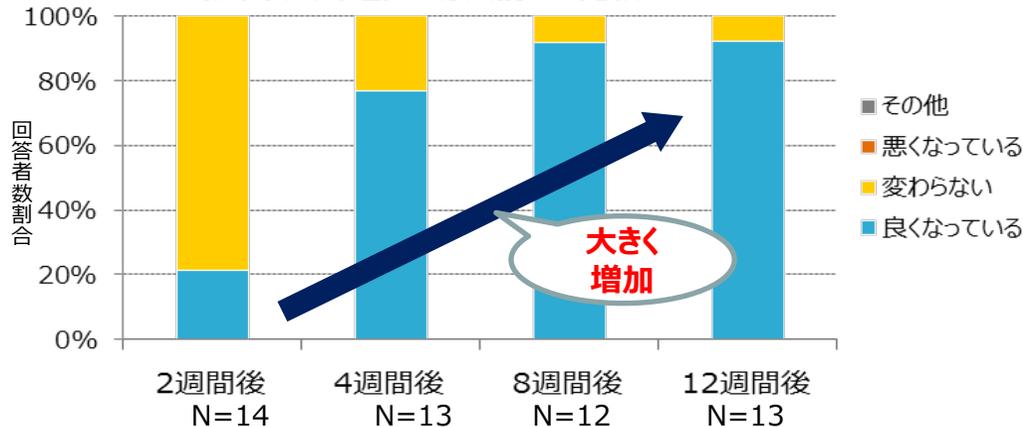
体調・顔色 導入前との比較



ご利用者_表情 導入前との比較



口数やリアクション 導入前との比較



車いす使用回数・時間等

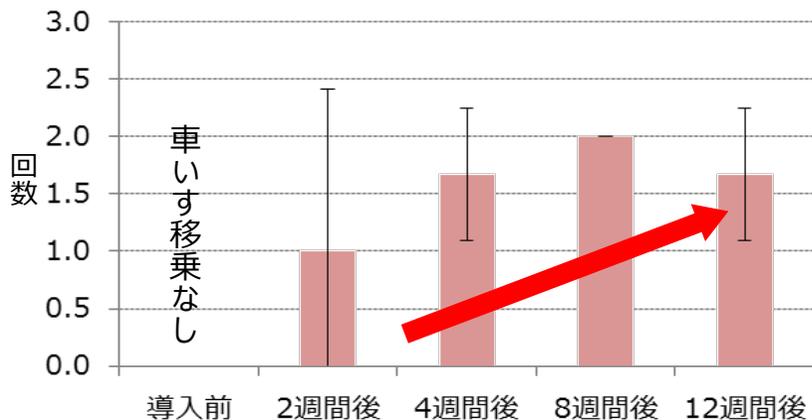


ご利用様

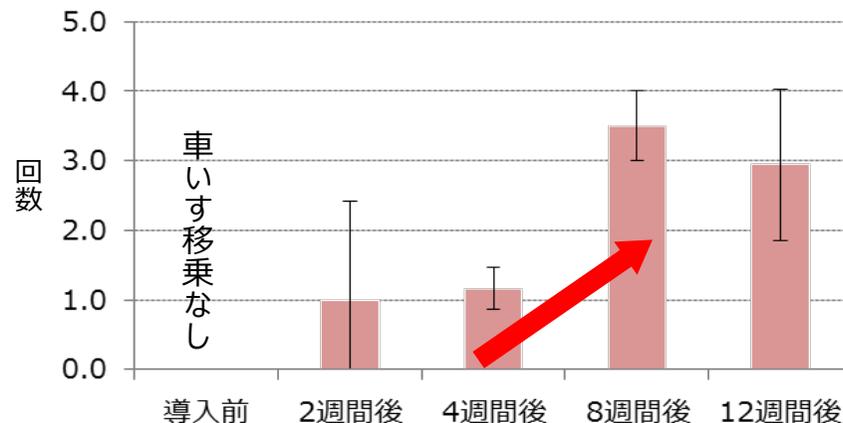
全く車いす移乗できていなかった状態から、徐々に回数・時間とも増加
⇒それに伴い、居室からの外出、覚醒時間も大きく増加

※12週間後の低下は、ご体調不良による

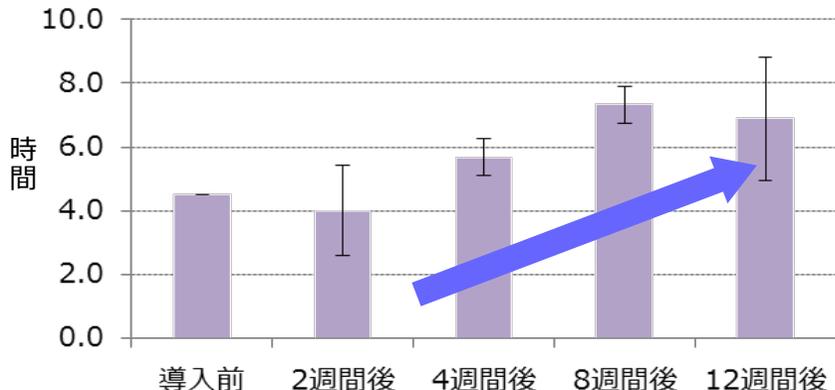
車いす使用回数平均（1日あたり）



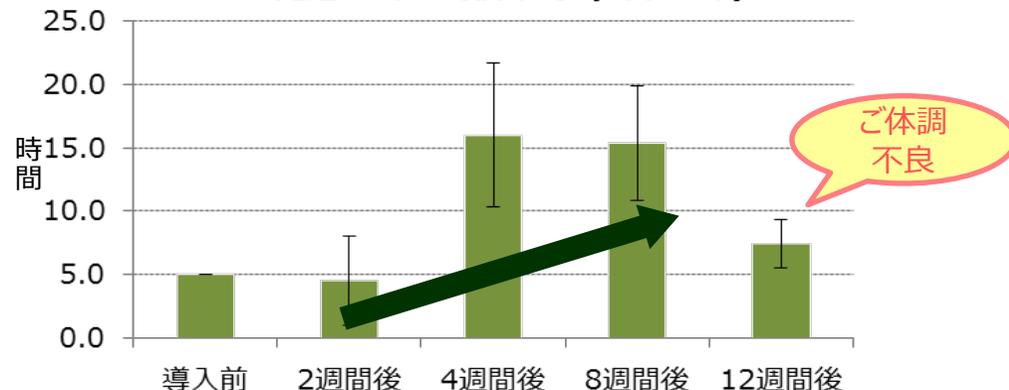
車いす使用时间平均（1日あたり）



居室から出た時間平均（1日あたり）



覚醒していた時間平均（1日あたり）



※各回 3日間の平均



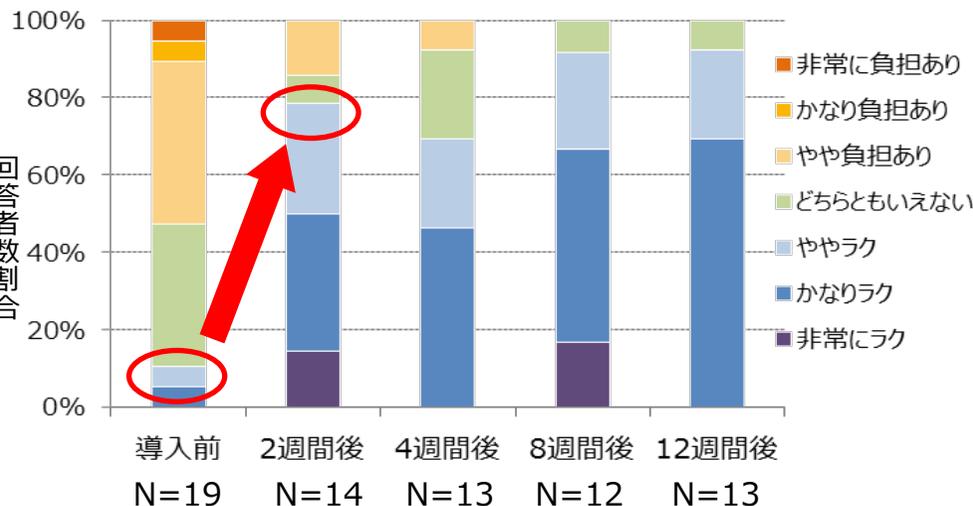
スタッフ様



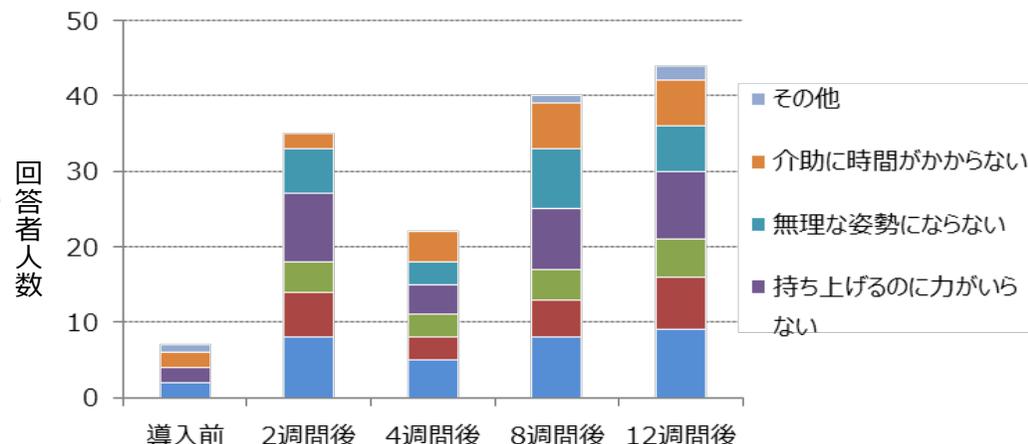
スタッフ様

導入2週間後から「ラク」の回答が80%程度
最終的には90%以上の方が「ラク」と回答

移乗介助身体負担



移乗介助身体的にラクである理由



<スタッフ様 コメント>

○時間が掛からず介助量少ない為、負担がかからない

○ご利用者様の下肢位置に注意する面に不安感が減り、リショーンの方が心理的負担が少ない

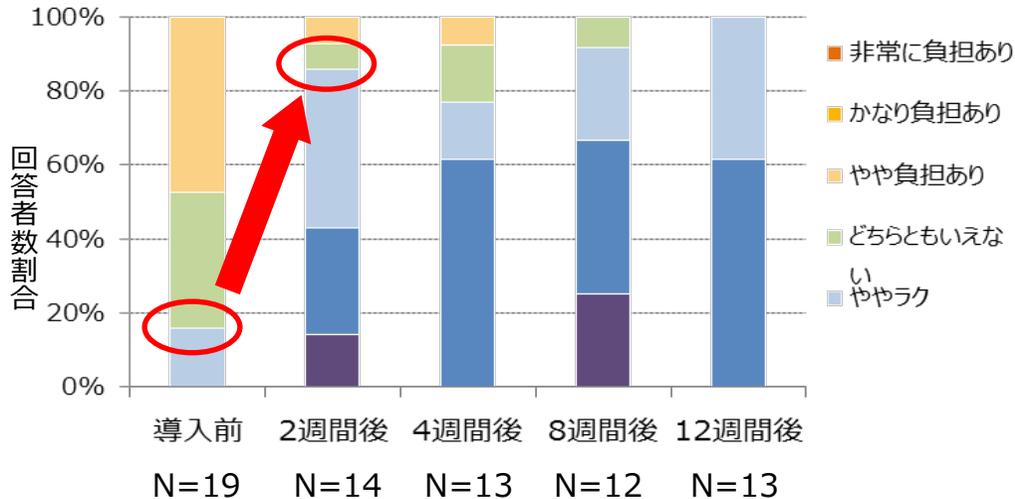
△背が小さいので、福祉用具（ラクラックス）を使用するほうが自分の高さには合わせやすい



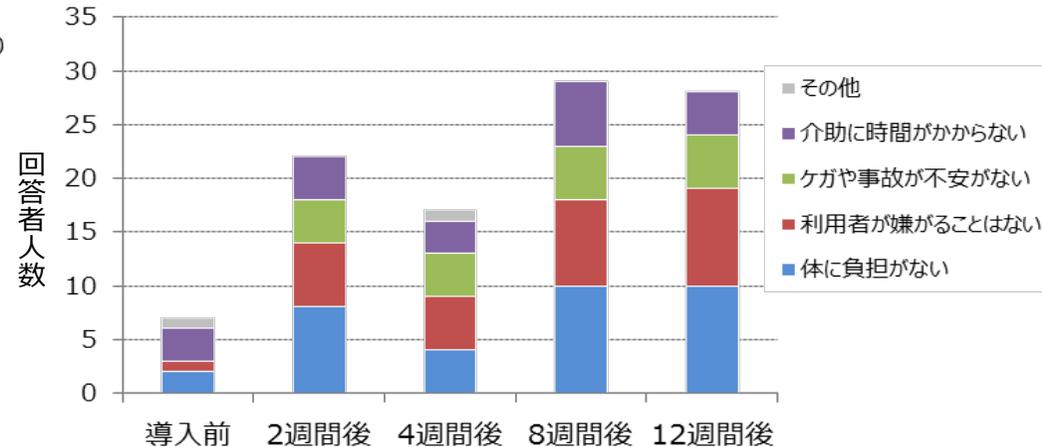
スタッフ様

**導入前は、抱えることで皮膚剥離等のリスクがあり、
スタッフ様の心理的ご負担があった⇒リショーンにより解消**

スタッフ_移乗介助心理負担



スタッフ_移乗介助心理的にラクである理由



<スタッフ様 コメント>

- 下肢などがぶつかったり持ち上げた時の負担、心配が少なくなった。
- 従来方式では、利用者様が時折り表情険しくなる事があり、安全面で配慮しなくてはいけないので、それが心理的負担になっていた。
- ×どちらでも怪我や事故に対しての不安がある（2週間後のご意見）

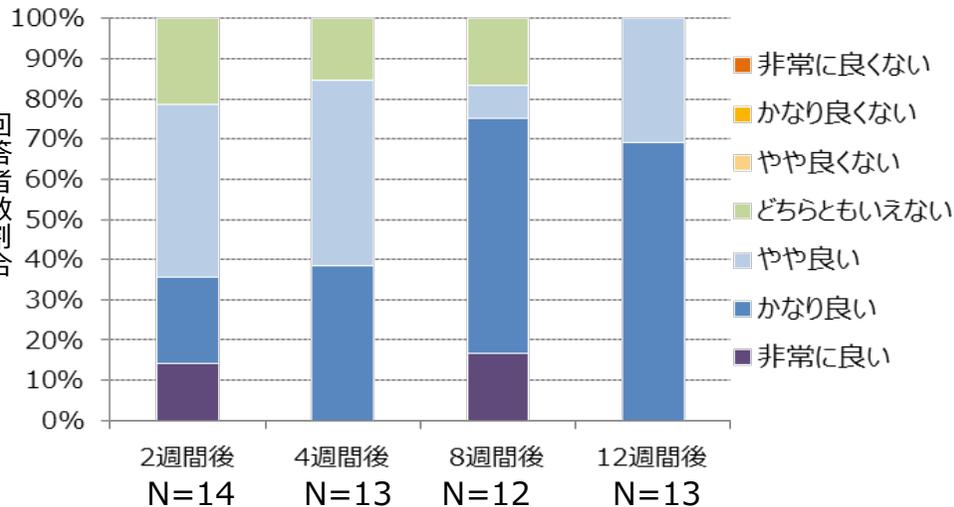
介護老人保健施設 サン様 リショナーを導入して良かったか



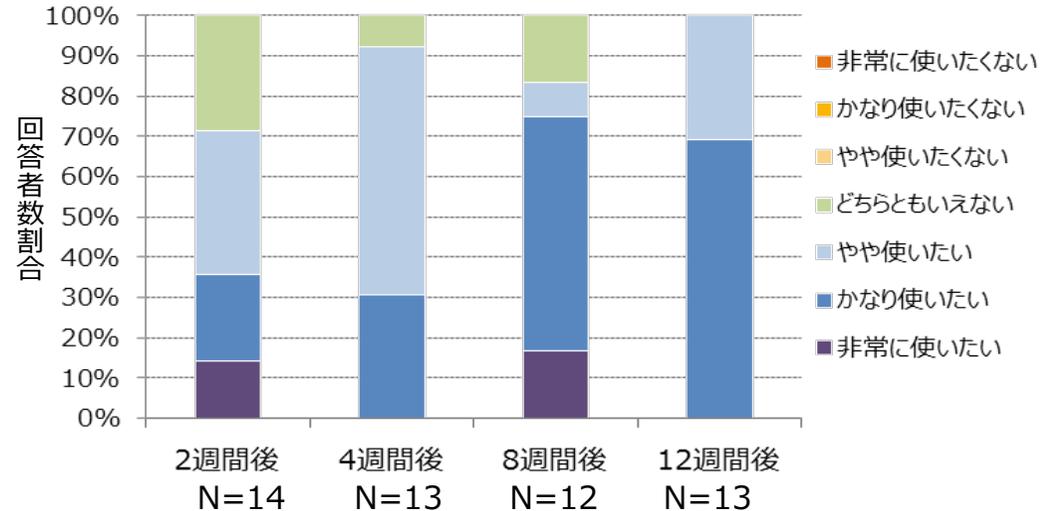
スタッフ様

導入12週間後には、**100%**がリショナーは「良い」「使いたい」との回答
⇒使い慣れ、ご利用者様の症状改善により、**全員が効果を実感**

リショナーを導入して良かったか



リショナーを今後も使いたい



<スタッフ様 コメント>

- 対象者の活気が以前より増した気がする（表情・発語・体動全て）
使い続けてどこまで元気になれるか？ その姿を見たい。
- ご家族の面会時に会話できることが増え、喜びの声が聞かれる
- 職員にとっても、入所者にとっても負担軽減に繋がっていると思う
- ターミナルケアが多く、移乗リスク・不安がある、ベッド上で保持、調整できるリショナーは広範囲で活用出来るのでは？
- △アームレストが改良され、転落の危険性がれば、他者にも使用したい

ご利用者様の状況が目に見えて改善！ 非常に有効に使うことができた。

2014年11月28日

理事／医学博士・石橋様
理学療法士・中村様 介護長・溝上様
看護師・松瀬様 介護福祉士・松永様

【離床の変化】

- ・以前は、車いすに乗せるのが大変なので、移乗の機会が少なかった。
リクライニングの車いすにのせても1時間ほどで水泡や発赤が出るため、怖くて乗せられず。
⇒リショーネでは、2時間乗っていても問題ない。不思議だが、身体状況が改善されているのだろう。
- ・以前は、移乗のために持ち上げると、皮膚剥離やうっ血、糜爛が発生
⇒今はスライドのみのため、問題なし。

【精神的変化】

- ・部屋から出て、食事やイベントに参加することで、以前はじっとしていたのが
体動が増え、イキイキとされた。
- ・車椅子で移動できることは大きい。環境が変わると人は変わる。景色が変わるので表情が出る。
脳によい刺激となる。
- ・童謡を歌うこともできるようになった。すごい。

【身体的効果】

- ・皮膚の乾燥・うっ血が無くなった。血行・循環系が良くなったのではないかと。

【その他効果】

- ・108歳の方が元気になることで、周囲の高齢者も刺激を受けている。





スタッフ様
ご利用者様

膝に拘縮があったため、クッションにてポジショニングを調整



<理学療法士コメント>

導入前は、拘縮があったため使用できないのではと考えていたが、工夫次第で使えるということが分かった

車いすへの移乗ができるようになり、参加機会増加

これまではベッドで生活であったが車いす移乗ができるようになり、レク等に**参加できる機会増加**

メリハリのある生活ができるようになり…
日中の覚醒度が高くなり、発語等も活発に



導入事例紹介

リショーン導入・現場の声

施設名	稼働状況	現場の声
介護付有料老人ホーム（パナソニック） サンセール香里園	2014.1～ 稼働中	一人介助の実現 一人介助によるベッド→車いす移乗ができる ご利用者様の移乗時の身体負担軽減 抱き上げ移乗の時よりも内出血が軽減
介護付有料老人ホーム（パナソニック） エイジフリーライフ星が丘	2014.1～ 稼働中	在宅酸素、持続点滴の方の安全な離床を実現 従来の抱き上げ移乗ではリスクが大きく、ベッドからの移乗ができない状況であったが、リショーンにより、安全な離床が実現できた。 寝たきり⇒発語・トイレ利用まで回復 離床の実現により、他のご入居者、スタッフと社会的な関わりを持つことができるようになった結果、発語やトイレ利用まで回復された。⇒QOLを高める為の良いアプローチが出来た（施設責任者）
住宅型有料老人ホーム（オリックスリビング株式会社様） グッドタイムリビング 千葉みなと／駅前通	実証評価 （2014.1） テクノエイド協会 モニタ制度	リフト移乗に伴う身体負担（関節の痛み）の低減 リショーンによる移乗で、移乗時の関節の痛みが軽減 移乗介助時間、工数低減効果 ベッド→車いす間の移乗時間・作業負担は大幅に低減
老人保健施設（医療法人社団 緑心会様） グリーンアルス伊丹	2014.8～ 稼働中	短期間でフロアスタッフ全員が使えるようになった 導入後約8日でフロアスタッフ全員（16名）が使えるようになった。（以前にリフト導入を試みたが、作業時間・人が掛かるため断念） ご家族が移乗介助できるようになった これまではスタッフが居ないとベッド→車いすの移乗ができなかったが、旦那さんが自分で移乗介助し、散歩できるようになった。

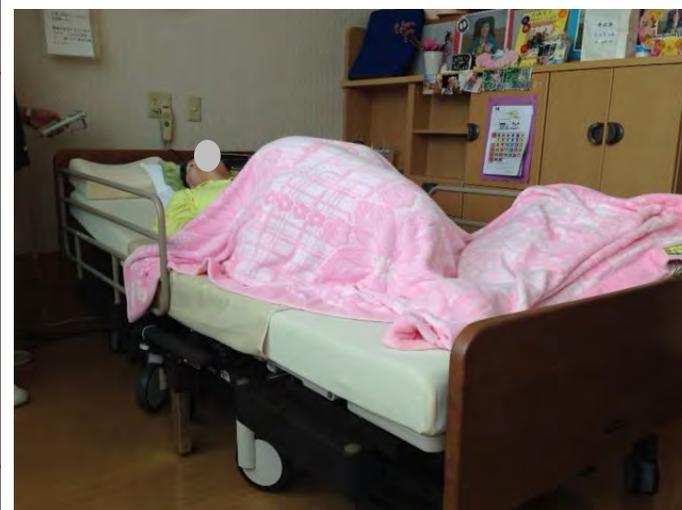
リショーン導入・現場の声

事例1) 老人保健施設 グリーンアルス伊丹 様 (兵庫県 伊丹市)

項目	内容
導入	<ul style="list-style-type: none">■ トレーニング： 期間：8日間 対象：フロアスタッフ16名■ 導入難易度：容易・ 8日訓練+OJTにて16名全員が使えるようになっている※過去にリフト導入を試みたが人・時間が掛かるため、断念した経緯あり
利用状況	<ul style="list-style-type: none">■ 対象者（被介護者）：要介護度4（ほぼ寝たきり状態）、女性■ 操作者（介護者）：全フロアスタッフ（16名）+ ご家族■ 環境：多床室（4人部屋）での利用
運用状況	<ul style="list-style-type: none">■ 移乗：主に3食、リハビリ、入浴のタイミングでの利用で活用中■ 食事：ダイニングにてオーバーテーブルを利用し、節食■ メンテ：シーツ交換は入浴時（1回/週）※日常のベッド周りの清掃も特に問題無くできている
利点	<p>【省力化】 【機動性アップ】 【QOL向上】</p> <ul style="list-style-type: none">・ ベッド→車いす移乗が 2人介助⇒1人介助へ・ ご主人様による離床介助が可能となり、自在に散歩などが可能・ 移乗時間：2.5分・1人（人手では1.5分・2人）※一人で手早く移乗でき、実稼働においても効率低下なしと判断。 <p>【負担低減】 【リスク低減】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 内出血減少、腰の痛み低減（ご入居者）・ 移乗介助時の腰痛負担低減（スタッフ）
課題	<p>老健として、リハビリ視点でより有効に活用できる活用方法を検討する（リショーン活用で、参加機会を増やすなど）</p>



多床室（4ベッド）での活用事例



対象者：要介護度4、女性

リショーン導入・現場の声

事例2) 介護老人保健施設 サン 様 (長崎県 佐世保市)

項目	内容
導入	<ul style="list-style-type: none"> ■ 介護スタッフ (操作者、介護者) 導入難易度: 容易 (スムーズに導入できた) 現在はフロアスタッフ (13名) が全員操作でき、日常業務で活用中 ■ 対象者 (被介護者) 導入後、徐々にベッドから車いすへの移乗回数を増やし、 現在 (1.5ヶ月後) は毎日昼食、おやつの時間は車いすでお過ごし いただくようになっている
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象者: 要介護度5 (女性、108歳、下肢拘縮あり) ■ 操作者: 全フロアスタッフ (13名) ■ 環境: 個室での利用
運用状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移乗: 2回/日 (昼、おやつ/レク) 車いすに移乗 ■ 食事: 昼、おやつは車いす、朝夕はベッドで摂食 ■ メンテ: シーツ交換は入浴時 (1回/週)
利点	<p>【省力化】 【負担軽減 (介護者/被介護者)】 【ADL改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間を掛けずベッド-車いす移乗ができる (1.5分・人) ・ 車いすへの移乗ができるようになり、参加機会増加 これまでではベッドで生活 (移乗なし) であったが車いす移乗ができるようになり、レク等に参加できる機会増加。 ・ リショーン導入後の体調変化 (改善) <ol style="list-style-type: none"> ① 皮膚が弱く皮下出血や剥離が見られたが導入後これらの障害減少 ② 皮膚の掻きむしりが多くあったが、導入後は殆ど無くなった ⇒ マットレスが合っているのではないか (施設コメント) ③ 日中の覚醒度が高くなり、発語等も活発になってきている



スライドシートで車いす側へスライド移乗



車いす座位変形とクッションによる姿勢保持



昼食前にフロアに出てテレビを愉しまれる

リショナーによる1日の活動例

事例3) 有料老人ホーム グッドタイムリビング千葉みなと 様 (千葉県)

一日の生活の流れ

時間	活動	
0:00	排泄介助	
1:00	就寝	
~		
5:00	排泄介助	
6:00	就寝	
7:00		起床介助・車椅子へ移乗
8:00	朝食(食堂)	
9:00	休憩(リビング)	
10:00	休憩(リビング)	ベッドへ移乗 ベッドで休憩(居室)
11:00	排泄介助後車椅子へ移乗	昼食(食堂)
12:00	昼食(食堂)	ベッドへ移乗し、入浴準備 再度車椅子へ移乗(居室)
13:00	入浴	ベッドへ移乗
14:00	ベッド上でTV視聴など(居室)	
15:00		
16:00		
17:00	排泄介助後車椅子へ移乗	夕食(食堂)
18:00	夕食(食堂)	ベッドへ移乗・就寝介助
19:00	就寝	
~		
23:00		

身体状況

項目	内容
体重	70kg
要介護度	要介護 5
身体能力	自身での寝返り不可
移乗介助	リフト(床走行型リフト) 2人介助
食事形態	常食 刻み食
拘縮	左片麻痺
排泄	オムツ+パット 1日10回程度 2時間毎
入浴	機械浴 週2回 2人介助
使用車いす	ティルトリクライニング



移乗



整容



移動



食事



休憩



移動

リショーン導入・現場の声

事例4) 特別養護老人ホーム 浦舟ホーム 様 (神奈川県 横浜市)

項目	内容
導入	<ul style="list-style-type: none"> ■ 介護スタッフ (操作者、介護者) 導入研修後、直ぐに居室での利用開始 (導入研修とOJT) 現在はユニットスタッフ (10名) が全員操作でき、日常業務で活用中 ■ 対象者 (被介護者) リショーン導入前はスライドボード、リフトによる移乗
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象者: 要介護度5 (男性、拘縮・褥瘡あり) ■ 操作者: 全ユニットスタッフ (10名) ■ 環境: 個室での利用
運用状況	<ul style="list-style-type: none"> ■ 移乗: 3回/日 (朝、昼、夕) 車いすに移乗して食事 ■ メンテ: シーツ交換は1回/週
利点	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ご入居者 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一日3度離床し、座ることができるようになった。 ・ 身体負担が少ない (ベッド中央からヨコに少し移動するだけ) これまで使っていた「スライドボード」は双方の負担が大きい ・ 胃瘻の方、発熱が少なくなってきた ⇒ 座ることにより改善しているのでは? (施設責任者) ・ 重度の褥瘡であったが、リショーン利用後改善している ⇒ 離床が良い影響をもたらしているのではないかと? (施設責任者) ◇ スタッフ <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で移乗介助できる ・ 移乗介助時の身体負担が少ない ◇ 経営者 <ul style="list-style-type: none"> ・ リショーンのメリットは双方の負担軽減ができること



車いす側へスライド移乗



車いすの分離 (リモコン操作)



車いす座位変形とクッションによる姿勢保持

リショーン導入・現場の声

事例5) 特別養護老人ホーム 海光園 様 (静岡県 熱海市)

項目	内容
導入	<ul style="list-style-type: none">■ 介護スタッフ (操作者、介護者) 導入難易度: 容易 (スムーズに導入できた) 現在はスタッフ (32名) が操作でき、日常業務で活用中 導入初期は2名操作としたが、約一ヶ月後からは1名での操作実践■ 対象者 (被介護者) 経管栄養実施者の方。 終日居室 (ベッド上) にて過ごす
利用状況	<ul style="list-style-type: none">■ 対象者: 要介護度 5 (経管栄養、ご自身で寝返りはできない)■ 操作者: 全フロアスタッフ (32名)■ 環境: 個室での利用
運用状況	<ul style="list-style-type: none">■ 移乗: 2~3回/日 車いすに移乗し、デイルームに移動■ 食事: 車いすですでデイルームに移動、食事の場で経管栄養■ メンテ: シーツ交換は入浴時 (1回/週)
利点	<ul style="list-style-type: none">◇ ご入居者<ul style="list-style-type: none">・ 移乗時の身体負担軽減が図れた・ 発語、表情の改善が見られ、活性化の兆候有り◇ スタッフ<ul style="list-style-type: none">・ 腰の負担が軽減された・ 離床介助時間の短縮が図れた (リフトと比較して)・ 離床回数が増えたことを、ご家族に喜んでもらえることが励みになる◇ ご家族<ul style="list-style-type: none">・ 少しでもベッドから離れる刺激ある生活ができるようなら嬉しい・ 本人と職員の負担が軽減されるので良い



車いす側へスライド&引き出し



車いす座位変形とクッションによる姿勢保持



車いすですでデイルームに移動

Panasonic

A Better Life, A Better World

ロボット介護機器の概要

項目	内容	
①製品名	リショーネ	
②製品番号	AP-3030AA001	
③製造事業者名	パナソニック プロダクションエンジニアリング（株）	
④問い合わせ先	別紙	
⑤製品の仕様	別紙	
⑥販売開始時期	2014年6月	
⑦販売価格	オープン価格	
⑧規格認証の状況	ISO13482認証取得	
⑨TAISコード	01525-000001	
⑩製品の特徴	別紙	
⑪主な対象者	重度要介護者	
⑫機器利用により期待できる効果と禁忌	別紙	
⑬使用上の注意	別紙	

ロボット介護機器の概要

項目	内容	
⑭チーム番号	T011、T019	
⑮補助事業の名称	T011:離床アシストベッド導入・効果測定 T019:離床アシストベッド導入・効果測定(2)	
⑯仲介者名	パナソニック プロダクションエンジニアリング (株)	
⑰問い合わせ先	別紙	
⑱体制図	別紙	
⑲講習内容	別紙	
⑳効果測定手法	別紙	
㉑効果測定の結果	別紙	
㉒入前後の状況	別紙	
㉓主なヒヤリハット情報等	別紙	
㉔導入施設の生の声	別紙	